

資 料 3
3 . 1 0 . 1 4
上下水道局上水道課

水道事業広域化に向けた水道施設の再配置計画について

1 目 的

持続可能な水道事業を確立し、安全・安心な水道水を将来にわたり供給するため、改正水道法に基づき、国(総務省・厚生労働省)が県に対して「水道広域化推進プラン」策定を要請しており、その一環として広域連携シミュレーションを行うもの

2 事業主体 厚生労働省水道課 令和3年度から令和4年度の委託事業

3 広域連携検討の水道事業者(案) 連携範囲は、松本広域行政圏(8市村)に加え長野県企業局(松塩水道)

4 検討概要

- (1) 現況把握、諸元整理、地理的条件、位置関係
- (2) 対象施設の課題抽出(経年化、稼働率、維持管理費、人員等)
- (3) 最適配置計画案の検討
- (4) 効果の試算(建設費、維持管理費等)、現状維持案との比較
- (5) 財政シミュレーション((4)の反映)

5 検討期間 効果試算の対象期間は約50年間とする。

6 課 題

- (1) 財政負担の増大が予想される中小水道事業者との連携のあり方
- (2) 今後の松塩用水需給量のあり方
- (3) 旧合併村には小規模浄水場、配水池が点在しており、効率的な水運用、事業形態のあり方

7 その他

同様に昨年度実施された長野・上田圏域[水道施設の最適配置の検討]の結果を踏まえ、関係市町(長野市、上田市、千曲市、坂城町)は、県に対して広域連携推進へ支援を行うなど、圏域広域連携に動き出しています。